

# キャリア教育全体計画

校訓	
小・中学部	高等部
にこにこ げんきな 子どもの のびのび なかよし 子ども こつこつ がんばる 子ども	健康 協力 自立

学校教育目標
基本的人権の尊重と教育の機会均等の精神に基づき、児童生徒一人一人の教育的ニーズに合わせて、個々の障害の状態・特性・能力・発達段階等に応じた適切な教育を行うことにより、可能な限りその個性や能力を伸ばし、自己のもてる力を精一杯発揮しながら、社会の一員としてよりよく生活するために必要な「生きる力」を育む。

小学部 目標	中学部 目標	高等部 目標
(1)体を動かすことを楽しみ、人や物事への興味関心を広げ、心身ともに健康で安全な生活をする能力や態度を育む。 (2)自分の思いを表現することや人との関わりを楽しむこと、集団のきまりを守ったり、役割を果たしたりすることなどの基礎的な能力や態度を育む。 (3)身辺処理能力や基本的な生活習慣、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けるとともに、自分から行動しようとする意欲や粘り強く取り組もうとする態度を育む。	(1)自己の成長に気付き、体力や運動機能の保持・増進に努める。 (2)集団生活に必要なきまりを守り、自分の意思を伝えながら周囲の人と協力して自分の役割や仕事を最後までやりとげる能力や態度を育む。 (3)身辺処理能力や基本的な生活習慣の定着及び向上を目指し、生活に必要な知識や技能の定着を図り、主体的に自己表現したり、自己選択・自己決定したりする態度を育む。	(1)基本的な生活習慣を確立し、進んで心身の調和や健康の保持増進に努める態度を育む。 (2)社会の仕組みやルールを理解し、自ら必要な支援を求めたり、相談したりできる表現力を高め、周りの人と協調・協力しながら、地域で生き生きと生活していく能力や態度を育む。 (3)卒業後の自立や社会参加に向けて必要な生活習慣や知識・技能・態度を身に付けるとともに、時と場に応じた行動や、自己選択・自己決定する力を育む。

本校におけるキャリア教育のねらい
子どもにとって最もふさわしい生活集団の中で、自分の持っている力を100%発揮し、役割を主体的に果たす生活ができるようにする

## 各部段階におけるキャリア発達の力(枠組み・A課程用)

基礎的・汎用的能力	要素	小学部	中学部	高等部
		人間関係・社会形成能力	コミュニケーション 日常生活に必要な意思の表現をする。	自分が思ったことを相手に伝えようとする。 クラスやグループの仲間と良好な人間関係を作る。
自己理解 自己管理能力	社会性	教師や友達とやり取りをしたり、集団へ参加したりする。	教師や友達と活動し、集団の中で自分の役割を果たす。 状況に応じた言動をとる。	集団の一員としての役割を果たす。 場や状況に応じた言動をとる。
	自己の役割	係の仕事や分担の作業など、自分の役割を知り実行する。	学校や家庭での自分の役割を理解し実行する。	社会生活の中で自分の役割や分担を理解し実行する。
	主体性	自分の好きな物を選ぶことができる。 自分のことは自分でやろうとする。	自分のやりたいこと、良いと思うことを選択し、進んで取り組む。	自分がやりたい、自分に必要だと思うことに進んで取り組む。
	自己認知	学校の決まり、日常生活の決まりを知って守る。	ルールやマナーを意識して行動する。	法律について理解し守る。
課題対応能力	自己管理	自分が好きなこと、嫌いなこと、自分の得意なことを見付ける。	自分の長所や短所に気付く。	自分の長所や短所を知り、集団の中で自分らしさを発揮する。
	情報の収集活用	日常生活でのおおよその予定や活動に対する見通しを持つ。 分からないことを聞いたり、調べたり、質問したりすることができる。	身近な情報・ツールを活用する。	社会の様々な情報やサービスについて知り、活用する。
キャリアプランニング能力	計画・立案・実行	自分でやろうとしたことを時間いっぱい活動する。 活動の振り返り、一日の振り返りをする。	目標を意識し時間いっぱい活動する。 活動場面で自分なりに課題に気付き、考え工夫しながら行動する。	自己の目標を設定し達成に向けて活動に取り組む。 自分の課題に気付き適切に解決しようとして、支援を求めたりする。
	学ぶこと働くことの意義や役割の理解	家の手伝いや割り当てられた仕事、役割ができるようになる。 お金の大切さを知り、お金のやり取りをする。	家庭や学校の中で与えられた役割を責任をもって果たす。 体験を通して金銭の扱い方が分かる。	働くことの意義が分かり、自分の役割を果たす。 それぞれが役割を果たすことで、集団が成り立つこと理解して取り組む。 働くことの意義が分かり、自分の役割を果たす。 労働と報酬、消費の関係を理解する。
	将来設計	活動を楽しみにし、意欲的に取り組む。 身近な地域の店で働く人に関心をもつ。	活動に意欲をもって最後までやりとげ、達成感を味わう。 憧れとする職業や夢をもつ。	将来の生活を思い描く。 自分の仕事に最後まで取り組み、やりがいを感じる。 働くことと余暇とのつながりを理解し余暇を活用する。

## 各部段階におけるキャリア発達の力(枠組み・B課程)

基礎的・汎用的能力	要素	小学部	中学部	高等部
		人間関係・社会形成能力	挨拶の習慣を付ける。 特定の人へ気持ちを伝える。 周囲の人へ気持ちを伝える。 新しい集団(学校生活)に慣れる。 集団(学校生活)の中で人と関わる。 地域社会で人との関わりを拡充させる。	
自己理解 自己管理能力	自己の役割 主体性 自己の障害受容	障害の程度に応じたADLを確立する。 適切な支援を受けることや支援機器を活用することで、参加し活動する力を身に付ける。		
		目標をもって活動する。		
		他の人のための仕事を果たす。		
		身近で働く人の仕事に関心を向ける。 仕事や自分の役割に関心を向ける。		
		自分の良さ、友達の良さを知る。		
		自己肯定感をもつ。 友達や周りの人に憧れをもつ。 夢や職業、卒業後の生活に憧れをもつ。		
課題対応能力	情報の収集活用 計画・立案・実行	これから行う活動が分かる。 次に行う活動への見通しをもつ。 活動の流れの見通しをもつ。		
		期待感をもって活動に取り組む。		
		好き嫌い、YES、NOなどを選択する方法を見付ける。 あらゆる場面で自分で選択する。 自分なりの方法で意思を表示する。		
キャリアプランニング能力	学ぶこと働くことの意義や役割の理解 将来設計	自分の好きなことを見付ける。 支援を受けながら好きなことに取り組む。 一人でも楽しめることを作り、余暇を充実させる。		
		自分のことを自分でやろうとする。 自分の課題を自分で解決しようとする。		
		特定の人からの支援を受け入れる。 慣れた教師からの支援を受け活動する。 誰からでも支援を受けて活動する。		